

# Dental Technicians' Meeting 2018 Tokyo

## イベント概要

日時 | 2018年1月27日(土) 受付時間9:00~15:00 ※受付開始時刻は状況により変更する場合がございます。

会場 | 御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター  
(東京メトロ新御茶ノ水駅直結) 東京都千代田区神田駿河台4-6

参加募集 | 300名 ※定員になり次第締め切らせて頂きます。

参加費用

ネット申込が おトクです	ネット申込割引価格 8,640円(税込)	FAX申込価格 9,720円(税込)	※昼食代を含みます。
-----------------	-------------------------	-----------------------	------------

申込方法 | 以下2種類のいずれかの方法にてお申込みください。  
①ホームページからのお申込み。[www.dental-plaza.com](http://www.dental-plaza.com)  
②下記参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込み。FAX:03-3834-4076  
※参加証は開催日約2週間前に送付いたします。  
※セミナー受付確認の返送が、お申込み後、数日内(特別休暇を除く)に届かない際は、ご連絡ください。  
※お電話での申込みは受付しておりません。FAXまたはWEBよりお申込みください。

申込期限 | 申込期限は1月23日(火)となります。  
※事前参加申込みのみとなります。当日の申込み受け付けは行いません。予めご了承ください。

注意事項 | ※後日、参加費お支払いのご案内をお送りいたします。案内到着後、記載の1週間以内にお振込みください。  
開催日当日まで、2週間未満のお申込みの場合は速やかにご入金ください。参加費の入金完了をもちまして正式な受付完了といたします。  
※1月18日(木)以降のキャンセルによるご返金はいたしかねますので、予めご了承ください。  
※従来歯科技工フォーラムで実施してありました製品販売は行いません。予めご了承ください。  
※参加証は当日忘れずにご持参ください。お持ちでない場合、入場できないこともありますので予めご了承ください。

お問い合わせ | 株式会社モリタ 歯科技工フォーラム東京事務局  
東京都台東区上野2-11-15 TEL03-3834-6164 FAX03-3834-4076

受付時間9時~17時  
(土曜・日曜・祝日除く)



未来の自分へ、  
いざススメ。

# Dental Technicians' Meeting 2018 Tokyo

## 参加申込書 (必ず事前に申込みください。当日の申込受付は行なっておりません。)

技工所/歯科医院 名		当日の 緊急連絡先 TEL	-	-
ご案内の送付先	<input type="checkbox"/> 医院	※日中ご連絡が可能な電話番号を必ずご記入ください。		
	<input type="checkbox"/> 技工所	TEL	-	-
	<input type="checkbox"/> ご自宅	FAX	-	-
※該当する箇所必ず <input checked="" type="checkbox"/> 印をお願いします。				

※ビル階数・マンション名・部屋番号までご記入ください。 ※後日、受付確認書を送付いたします。なお、受付確認書が数日内(特別休暇を除く)に届かない際はご連絡ください。

参加者氏名	1 (代表者)	(フリガナ) お名前	4	(フリガナ) お名前
	2	(フリガナ) お名前	5	(フリガナ) お名前
	3	(フリガナ) お名前	6	(フリガナ) お名前

お出入りのディーラー名		支店 営業所	TEL	-	-
-------------	--	-----------	-----	---	---

※ご記入いただいたお申込み情報は、モリタ個人情報収集方針に準じ厳密に取り扱いたします。

第16回  
モリタ歯科技工フォーラム

# Dental Technicians' Meeting 2018 Tokyo

2018年1月27日(土)  
御茶ノ水ソラシティ カンファレンスセンター

※イベント概要にご注意ください

## 第16回 モリタ歯科技工フォーラム

# Dental Technicians' Meeting 2018 Tokyo

御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター

今回は「歯科技工フォーラム」の内容を一新し、情報提供に特化した講演会イベントとして開催いたします。おかげさまで、30周年を迎えたAAA記念講演をデンタルテクニシャンズミーティング2018内で特別公演として実施いたします。ぜひご参加いただき、明日からの臨床にお役立ていただければ幸いです。

1/27  
sat.

10:00~

### 働くということ

60分

～元プロ野球選手に学ぶ、成功するための戦略思考～  
千葉ロッテマリーンズで活躍し、2005年、2010年には3位から日本一を達成。「史上最大の下剋上」と呼ばれる。2006年のWBCでは正捕手として日本を世界一に導き、ベストナインにも選出。無名選手から世界一のキャッチャーになった里崎智也。特別な才能のなかった里崎が、なぜ日本一、世界一にまで登りつめられたのか。そこには人生の逆転戦略「下剋上」を達成するための戦略思考がある。



里崎 智也 先生  
元千葉ロッテマリーンズ捕手

11:00~

### 一口腔単位での補綴設計を考える

60分

～審美と機能を確立させる義歯製作の3つのポイント～  
総義歯製作には様々な基準値や規格が用いられています。しかしその基準値や規格は歯科医師ごとに千差万別で、ラボサイドではそれらに対応するための知識と技術が求められています。そこで、ラボサイドで押さえておきたいポイントを3つに絞りフォーカスを当ててみたいと思います。「咬合器付着方法」「咬座印象」「リマウント」この3点を確実に行うことで品質のバラつきを無くし高いレベルで品質の均一化を図ることが可能となります。本講演では現在私が取り組んでいる機能と審美を確立する為の総義歯製作システムを紹介させていただきたいと思います。



五十嵐 智 先生  
correct-design  
代表

13:00~

### イントラオーラルスキャナーを使用した検証と臨床

60分

昨今、各社からイントラオーラルスキャナーが発表され、歯科診療におけるデジタル化が本格化しつつあると感じております。当社では、2016年秋から各社イントラオーラルスキャナーを用い、臨床での検証を行ってまいりました。口腔内印象採得後製作された石膏作業模型、その模型上で補綴物を製作するという技工操作を当然のごとく行ってまいりましたが、作業模型が介在せずにはたして本当に問題なく補綴物が口腔内にセットできるのだろうか？ 口腔内で採得されたデータを扱う上での留意点は？ 適合は？ コンタクト、咬合の強さは？ 調整量は？ など疑問を抱きながら行った検証結果を臨床を交えて紹介したいと思います。



堀 裕彦 先生  
株式会社 杏友会

ノリタケスーパーポーセレンAAA 30周年記念講演

## Shaping the Future of Esthetics 審美歯科の未来を創造し続けるセラミックテクノロジー



### AAA発売30周年記念誌について

ご参加いただいた方には、日本および海外で歯科技工士として活躍の先生方の臨床例をまとめた記念誌(情報物・非売品)を進呈します。配布時に参加証を提示いただきます。当日参加証を忘れずにご来場願います。



記念冊子イメージ(掲載ページは、林直樹先生の臨床例を掲載したページになります)

14:10~

### マテリアルの進歩とその臨床応用 ～デジタルテクノロジーと未来の歯科補綴～

60分

近年CAD/CAM機器に代表されるデジタル機器の普及が進んだことにより、マテリアルもめまぐるしく進化している。中でも補綴修復用のマテリアルは審美性、強度、生体親和性などその機能が多様化していく一方で、口腔内での予後データが少ないこともあり、マテリアルのトラブルもささやかれるようになってきている。今回の講演では様々な視点からのデータと演者の臨床例を交えながら、最新のマテリアルの可能性とトラブル回避のためのポイントを解説する。



蛭崎 寿之 先生  
鹿児島ミリングセンター  
福岡研修センター所長

15:10~

### Walk Together

60分

～ノリタケポーセレンと歩んだ30年～  
昨今われわれを取り巻く環境下では、様々な材料と機器が開発されている。このことは修復法の選択肢に幅をもたせることとなり、我々の材料に対する知識や経験の重要性が増している。一方で、材料や機器で補えない技工技術にもさらに注力が必要となるであろう。今回は、これまでセラミックスを扱う技工に携わってきた年月の中から、自身のなかでターニングポイントになった出来事や症例、そして応用した材料とテクニックを提示し、参加者の皆様と時間を共有できればと思う。



山田 和伸 先生  
株式会社カスプデンタルサプライ  
カナレテクニカルセンター所長

16:20~

### Noritake AAAポーセレンを用いた ラミネートベニア製作について

60分

前歯部ラミネートベニア製作においても、CAD/CAMやプレスセラミックスが補綴のオプションとして用いられることをしばしば見かける。しかし私の中では、今でもリフラクトリーモデル上にAAAを用いたレイヤリングテクニックが最適な選択だと思っている。このレクチャーでは、臨床ケースを通じてAAAポーセレンを用いたラミネートベニアの優位性について説明をしていきたいと思う。

- ・ソフトティッシュを含むリフラクトリーモデルの製作法
- ・最終的な色調や形態を歯科医師と
- ・事前にコミュニケーションすることの重要性
- ・ラミネートベニアの色調のコントロール



Aki Yoshida 先生  
Gnathos Dental Studio